

令和元年度 自主財源確保の取組状況について

1. ネーミングライツ（R1 取組額 52,680 千円）（9 月末時点）9,100 千円

○契約済 8 件※¹

○各団体やイベント等で発信※²しているほか、問合せや相談があった企業へ丁寧にニーズをヒアリングしながら、個別に提案

※¹

施設等	ネーミングライツパートナー	ネーミングライツ料
①滋賀日産リーフの森	滋賀日産自動車(株)	500 千円
②長浜バイオ大学ドーム	学校法人関西文理学園	2,400 千円
③ウカルちゃんアリーナ	(株)成基	3,000 千円
④奥びわ湖・山門水源の森	(株)山久	1,000 千円
⑤うみのこイース号	滋賀ダイハツ販売(株)	ラッピング・登録費等
⑥滋賀の文化財講座「花湖さんの打ち出のコツチ」	(株)国華荘(びわ湖花街道)	50 千円
⑦安土城考古博物館「NPSセミナールーム」	日産プリンス滋賀販売(株)	150 千円
⑧びわ湖フローティングスクール事業	日本電気硝子(株)	2,000 千円

※²

活動先	対象等
①滋賀経済団体連合会と行政との連絡調整会議	滋賀県内 経済6団体
②企業への訪問時に持参(連携先 商工観光労働部)	訪問先企業 140 社(9 月末時点)
③近江ゆかりの会	参加者 約 360 名
④ニッセイビジネスマッチング	関西の企業 約 3,000 社

2 広告事業（R1 取組額 30,097 千円）（9 月末時点）19,287 千円

○広告の募集対象を拡充し、公募を実施しているが、対象が明確になっている媒体や、アクセス数が多い媒体以外では、獲得に至っていないものがある。

○今後、紹介ツールを作成するなど、身近な飲食・商業施設等への訪問活動などを含め、様々な機会を捉えた広告の獲得を促進していく。

【継続的に広告を確保しているもの】

県ホームページバナー、印刷物（チラシ・教育しが・滋賀労働等）、職員用パソコン画面、自動車納税通知書、広告付きデジタルサイネージ（運転免許センター、琵琶湖博物館）壁面広告（本庁舎）

【令和元年度からの取組で確保したもの】

壁面広告（南部合庁・甲賀合庁）

3 自動販売機公募 (R1 取組額 77,683 千円) (9 月末時点) 77,494 千円

○庁舎や学校施設などに設置しているものは前年度を上回り、全体では概ね見込みどおり。

○引き続き、増収に向けた取組として、ニーズ等もふまえた設置を促進していく。

4 寄附・協賛等の獲得 (R1 取組額 133,759 千円)

<主な寄附の状況 (9 月末時点) >

・滋賀応援寄附 8,357 千円 ※申込みベース (R1 18,529 千円)

※寄附の使途を 12 に拡充して発信し、窓口の一元化など利便性を高めて寄附を促進しているところ。今後、HP などにおける発信を充実していく。

・琵琶湖博物館関連寄附 10,040 千円 (R1 74,730 千円)

※県内や首都圏の企業等への職員訪問、来館者への納付書配布等を通じた寄附獲得活動を展開しているほか、サポーター制度を設け、企業等に積極的に関わってもらっている。

・国スポ・障スポ寄附 15,263 千円 (R1 25,000 千円)

※県内外の企業・団体に対し、寄附への協力を依頼しているほか、県内の各種イベントにおいて募金活動を実施しているところ。また、県HPのほか、県人会会報や県スポーツ協会情報誌「ビスポ」等での周知も実施している。

5 資産の売却・貸付け・活用 (R1 取組額 1,352,136 千円)

○令和元年度に売却・貸付け予定の 13 件、1,352,136 千円について、売却に向けた入札参加申し込み受付中が 2 件 (8,810 千円)、貸付け 1 件 (12,001 千円)。

○未売却のものや、来年度以降売却を予定しているものは、引き続き売却に向けた条件整備を進めていく。

○未利用土地や既存の資産等の処分や有効活用を推進するため、民間事業者からアイデアや意見をヒアリングする市場調査プロセスの一環として、「滋賀県庁 県有資産活用のひろば」の運営を開始し、ヒアリングパートナーの募集を開始したところ。

6 その他 (R1 取組額 407,936 千円)

○本庁・地方合同庁舎におけるリサイクル資源売却については、年度当初に契約済み。

○特別会計からの繰入れや売上納付金等について、見込み通り歳入確保できるよう、取り組んでいるところ。